

【様式】

令和6年度 学校マネジメントシート

学校名(三重県立上野高等学校(定時制))

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿		<ul style="list-style-type: none"> 生徒が学びがいを実感する学校 保護者・地域が頼りがいを実感する学校 教職員が働きがいを実感する学校
(2)	育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶を大切にする生徒 気つきを大切にする生徒 命を大切にする生徒
	ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> 自由闊達な職場風土の中で協働と研修を通して職能成長を図る教職員 生徒の成長に使命と情熱を感じる真の教育専門職を目指す教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p><生徒> 確かな学力の育成と進路希望を実現し、居場所のある安心安全な学校 <保護者> 一人ひとりを大切にし、学力や社会性が身につく学校 <中学校> 一人ひとりの生徒の個性を生かし伸ばしていく学校 <地域・企業・事業主> 基礎学力、社会性、協調性、コミュニケーション力など調和のとれた生徒を育成する学校 </p>					
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待		<table border="1"> <tr> <th>連携する相手からの要望・期待</th><th>連携する相手への要望・期待</th></tr> <tr> <td> <p><保護者> 一人ひとりを大切にした教育と進路実現 <事業主> 社会人としての教養やマナーの定着</p> </td><td> <p><保護者> 教育活動への理解と協力 <中学校> 支援の必要な生徒への情報共有や連携した指導 <地域の関係機関> 生徒の実態理解と支援</p> </td></tr> </table>		連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待	<p><保護者> 一人ひとりを大切にした教育と進路実現 <事業主> 社会人としての教養やマナーの定着</p>	<p><保護者> 教育活動への理解と協力 <中学校> 支援の必要な生徒への情報共有や連携した指導 <地域の関係機関> 生徒の実態理解と支援</p>
連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待						
<p><保護者> 一人ひとりを大切にした教育と進路実現 <事業主> 社会人としての教養やマナーの定着</p>	<p><保護者> 教育活動への理解と協力 <中学校> 支援の必要な生徒への情報共有や連携した指導 <地域の関係機関> 生徒の実態理解と支援</p>						
(3)前年度の学校関係者評価など		<ul style="list-style-type: none"> 定時制では、外国籍の生徒や不登校を経験した生徒など多様な生徒が学んでいるが、そのことを強みに捉え、多様な生徒との関わりから人間関係の築き方を学ぶことを通して、社会に出て活躍する力を育成して欲しい。 定時制は、多様な生徒の居場所になっている。今後も、中学校や地域との連携を深めて教育をして欲しい。 日本語指導の更なる充実について、中学校・地域からの期待は高い。 					
(4)現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> 不登校経験のある生徒や外国人生徒の増加に伴い、生徒同士や教職員に対するコミュニケーション能力の育成や日本語教育が必要である。 成人生徒の入学や他校からの転・編入生徒が増加する中、本校の教育にうまく適応できる環境の整備に取り組む必要がある。 					

	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> 家庭における経済的な困窮や教育力の低下、家庭基盤の脆弱な生徒の増加に対応するために外部機関と連携した取組を進める必要がある。 多様化する生徒や保護者に対応するため、教職員の研修の機会を確保し、様々な研修を通して教職員の資質の向上に取り組む必要がある。
--	-------	--

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> 自立心を持った生徒を育む教育活動の推進 生徒一人ひとりの進路実現を目指した取組の推進 主体的・協働的な態度、他者と共生する力の向上に向けた取組の推進
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> 保護者・地域との連携を密にし、満足と信頼の確保に向けた取組の推進 教育活動・学校運営を継続的に改善していく活気ある明るい組織風土の醸成に向けた取組の推進 過重労働緩和・総勤務時間削減に向けた取組の推進

4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> 目標・目的意識をもって、本校で学び成長する意欲がある生徒
---------------------------------	--

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「○」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
生徒の学びの充実	<p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○非常勤講師を含めたすべての教員が、ICT の活用やアクティブラーニングの視点を取り入れた授業を行うとともに、互いに協力し問題解決力を高める学習指導を実施 ○人権学習会を 2 回以上実施する ○登校指導を定期的に行う <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒アンケートで「授業の説明は丁寧で分かりやすい」95% ○生徒アンケートで「困難だと思うことでも、前向きに考えて挑戦している」95% ○生徒アンケートで「授業で学習した内容は、今後役に立つと思う」95% ○生徒アンケートで「総合的な探究の時間における「取組満足度」95% ○生徒アンケートで人権教育満足度 95% 	(年度末および適宜記載)	○ ※

	○日本語習得支援に係る授業への参加者5名以上 ○生徒アンケートで「働くこと」への理解度 80%		
改善課題			
(年度末に記載)			

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進歩を管理する取組 「○」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
保護者・地域との連携	<p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校通信「道標(みちしるべ)」、「ほけんだより」を発行し、ホームページにも掲載 ○保護者対象の授業公開を年1回以上実施する ○中学校との情報共有を定期的に行う <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケートで「学校通信により、学校の様子がわかる」と回答した割合 100% 	(年度末および適宜記載)	※ ※ ※
教職員の働きがいの向上	<p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎週金曜日を定時退校日とし、設定した日の定時に退校できた職員の割合 100% ○週1日以上の休養日を設定できた部活動の割合 100% ○60分以内に終了した会議の割合 90%以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人当たりの月平均時間外労働時間 30 時間以下の職員の割合 100% ○一人当たりの年間休暇取得日数を15日以上 ○月 45 時間を超える時間外労働者の延べ人数0人 ○年 360 時間を超える時間外労働者の人数0人 	(年度末および適宜記載)	
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動について の改善策	(年度末に記載)
学校運営について の改善策	(年度末に記載)